

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

大山町議会議員

池田 幸恵



令和元年大山町議会議員研修報告書

1	日時	令和 元年 7月 3日 (火) ~ 5日 (木)	
2	研修地	全国市町村交際文化研究所	
3	研修内容	(内 容)	(場 所)
		(1) 2025年問題と社会保障政策	
		(2) 介護保険と地域包括システム	
		(3) 地域医療の現状と課題	
		(4) 認知症の基礎知識と社会参加による進行予防の可能性	
(5) 街全体で人々を看守るまちづくり			
4	研修結果又は概要(意見)	<p>・2050年問題とは、団塊の世代の多くが給付を受ける側になる。そのため人口減少下では医療、介護、福祉サービスへの需要が高まり、社会保障財政のバランスが崩れること。</p> <p>そのためには、見給付の直しと消費税で財源を確保。技術革新やグローバル経済に対応した社会保障制度のあり方が必要であるなどの「社会保障・税の一体改革」が必要であることを学んだ。</p> <p>時代とともに介護保険制度をとりまく状況もめまぐるしく変化しており、人材不足、介護保険料の見直し、持続可能な制度の再構築や介護現場の革新(介護ロボット、ICT活用推進など)などが各研修で繰り返し課題となっていた。</p> <p>講義の後半では制度としての介護から、事業所や地元、他機関と連携した介護の事例を学んだ。</p> <p>・3日間を通して介護保険の成り立ち、財政、現場など、それぞれを取り上げるのではなく、介護に関係のあるもの全てを絡めて様々な角度から学び時代とともにどう改革し見直していくのかと全体的に学ぶことができた。</p>	